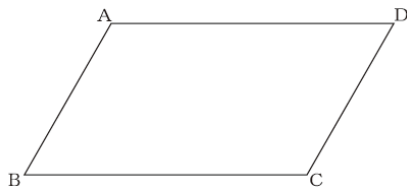


★解答用紙があります。解答はすべて解答用紙に書きましょう。

- 1 下の四角形 ABCD において、「AB//DC, AB=DC」が成り立っています。このことは平行四辺形になるための条件に当てはまっているので、四角形 ABCD は平行四辺形になることが分かります。

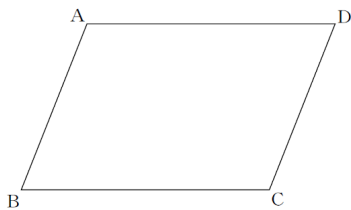


上の下線部「AB//DC, AB=DC」が表しているものを、下のアからオの中から1つ選びなさい。

- ア 2組の向かい合う辺がそれぞれ平行である。
- イ 2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい。
- ウ 2組の向かい合う角がそれぞれ等しい。
- エ 対角線がそれぞれの中点で交わる。
- オ 1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しい。

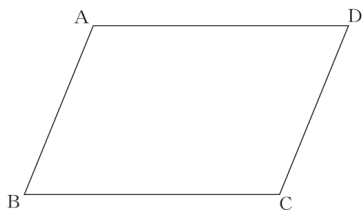
- 2 四角形は、2組の向かい合う角の大きさがそれぞれ等しいとき、平行四辺形になります。

下線部を、次の図の頂点を表す記号と、記号 $\angle$ ,  $=$ を使って表しなさい。

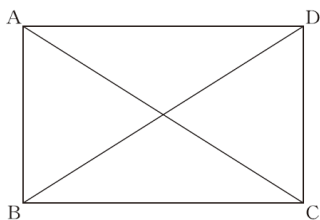


- 3 四角形は、1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいとき、平行四辺形になります。

下線部を、次の図の四角形 ABCD の辺と、記号 $//$ ,  $=$ を使って表しなさい。



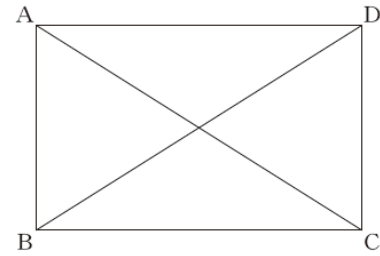
- 4 下の図で、四角形 ABCD は長方形です。



長方形の対角線の長さは等しいといえます。

下線部を、上の図の頂点を表す記号と、記号 $=$ を使って表しなさい。

- 5 長方形 ABCD において、AC=BDが成り立ちます。



上の下線部が表しているものを、下のアからオまでのの中から1つ選びなさい。

- ア 向かい合う辺は平行である。
- イ 向かい合う辺は等しい。
- ウ 向かい合う角は等しい。
- エ 対角線はそれぞれの中点で交わる。
- オ 対角線の長さは等しい。

- 6 「平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わる」ことを、次のように証明しました。

証明

平行四辺形 ABCD の対角線の交点を O とする。  
 $\triangle ABO$  と  $\triangle CDO$  において、  
 平行四辺形の向かい合う辺はそれぞれ等しいから、

$$AB = CD \quad \dots \text{①}$$

AB // DC より、平行線の錯角は等しいから、

$$\angle ABO = \angle CDO \quad \dots \text{②}$$

$$\angle BAO = \angle DCO \quad \dots \text{③}$$

①, ②, ③より、                     から、

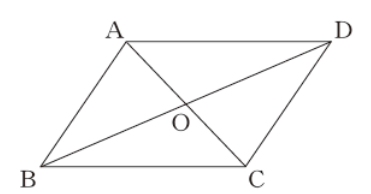
$$\triangle ABO \cong \triangle CDO$$

合同な図形の対応する辺は等しいから、

$$OA = OC$$

$$OB = OD$$

よって、平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わる。

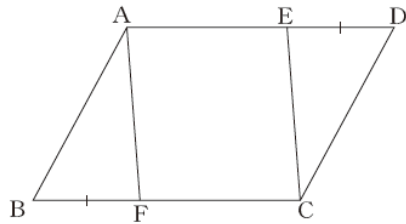


上の証明の                      に当てはまる合同条件を、下のアからオまでのの中から1つ選びなさい。

- ア 3組の辺がそれぞれ等しい
- イ 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい
- ウ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい
- エ 直角三角形の斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい
- オ 直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい

7 平行四辺形 ABCD の辺 AD, 辺 BC 上に,  $DE=BF$  となるような点 E, 点 F をそれぞれとるとき,  $AF=CE$  となることを, ある学級では, 下の図1をかいて証明しました。

図1

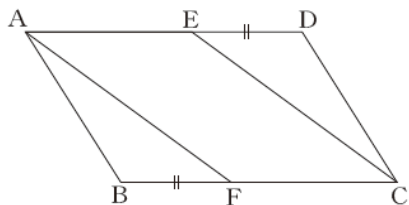


証明

△ABF と △CDE において  
 四角形 ABCD は平行四辺形だから、  
 $AB = CD$  …… ①  
 $\angle ABF = \angle CDE$  …… ②  
 仮定から,  $BF = DE$  …… ③  
 ①, ②, ③より, 2 辺とその間の角がそれぞれ等しいから,  
 $\triangle ABF \equiv \triangle CDE$   
 したがって,  $AF = CE$

この証明のあと, 図1と形の違う図2のような平行四辺形 ABCD についても, 同じように  $AF=CE$  となるかどうかを考えてみたところ, 下のアからエのような意見が出ました。正しいものを1つ選びなさい。

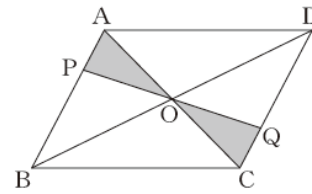
図2



- ア 図2の場合も,  $AF=CE$  であることは, すでに上の証明で示されている。
- イ 図2の場合は,  $AF=CE$  であることを, 改めて証明する必要がある。
- ウ 図2の場合は,  $AF=CE$  であることを, それぞれの長さを測って確認しなければならない。
- エ 図2の場合は,  $AF=CE$  ではない。

8 平行四辺形 ABCD で, 辺 AB 上に点 P をとり, P と対角線の交点 O を通る直線をひき, その直線と辺 CD との交点を Q とします。このとき,  $OP=OQ$  となることを, ある学級では, 下の図1をかいて証明しました。

図1

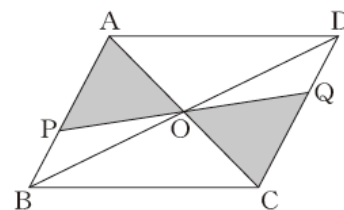


証明

△OPA と △OQC において,  
 平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わるので,  
 $AO = CO$  ……①  
 平行線の錯角は等しいので,  
 $\angle PAO = \angle QCO$  ……②  
 対頂角は等しいので,  
 $\angle AOP = \angle COQ$  ……③  
 ①, ②, ③より, 1 辺とその両端の角がそれぞれ等しいので,  
 $\triangle OPA \equiv \triangle OQC$   
 合同な図形の対応する辺の長さは等しいので,  
 $OP = OQ$

この証明をしたあと, 点 P の位置を図2のように変えました。このときも図1と同じように  $OP=OQ$  となるかどうかを考えてみたところ, 下のアからエまでのような意見が出ました。正しいものを1つ選びなさい。

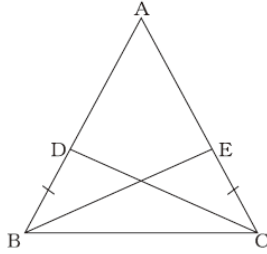
図2



- ア 図2の場合も,  $OP=OQ$  であることは, すでに上の証明で示されている。
- イ 図2の場合は,  $OP=OQ$  であることを, 改めて証明する必要がある。
- ウ 図2の場合は,  $OP=OQ$  であることを, それぞれの長さを測って確認しなければならない。
- エ 図2の場合は,  $OP=OQ$  ではない。

9 下の図のような  $AB=AC$  の二等辺三角形  $ABC$  があります。辺  $AB$ 、辺  $AC$  上に  $BD=CE$  となる点  $D$ 、点  $E$  をそれぞれとります。

このとき、 $CD=BE$  となることを、次のように証明しました。



証明

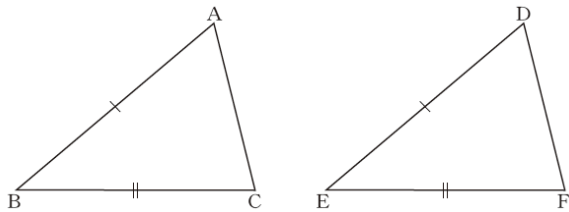
$\triangle DBC$  と  $\triangle ECB$  において、  
 仮定から、 $BD=CE$  .....①  
 $\triangle ABC$  は二等辺三角形なので底角は等しいから、  
 $\angle DBC = \angle ECB$  .....②  
 また、 $BC=CB$  ( $BC$  は共通) .....③  
 ①、②、③より、                     から、  
 $\triangle DBC \equiv \triangle ECB$   
 したがって、 $CD=BE$

上の                      に当てはまる三角形の合同条件を、下のアからオの中から1つ選びなさい。

- ア 3辺がそれぞれ等しい
- イ 2辺とその間の角がそれぞれ等しい
- ウ 1辺とその両端の角がそれぞれ等しい
- エ 直角三角形の斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい
- オ 直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい

10 次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

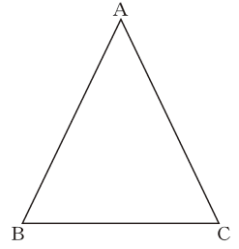
(1) 次の図で、 $\triangle ABC$  と  $\triangle DEF$  が合同であることを証明しようとしています。 $AB=DE$ 、 $BC=EF$  であることは分かっています。



三角形の合同条件を用いて証明するために、あと1つどのようなことが分かればよいですか。下の                      を完成しなさい。

・分かっていること  
 $AB=DE$   
 $BC=EF$   
 ・分かればよいこと  
                     =                     

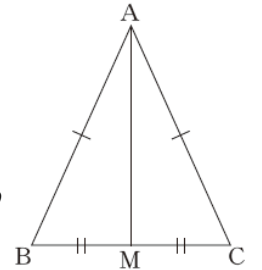
(2) 次の図で、 $\triangle ABC$  は  $AB=AC$  の二等辺三角形です。



二等辺三角形の2つの底角は等しいといえます。

下線部を、上の図の頂点を表す記号と、記号  $\angle$ 、 $=$  を使って表しなさい。

11  $AB=AC$  である二等辺三角形  $ABC$  があります。辺  $BC$  の中点を  $M$  として、直線  $AM$  をひきます。このとき、 $\angle BAM = \angle CAM$  であることを次のように証明しました。



証明

$\triangle ABM$  と  $\triangle ACM$  において、  
 仮定から、 $AB=AC$  ...①  
 $BM=CM$  ...②  
 共通な辺だから、 $AM=AM$  ...③  
 ①、②、③より、                     から、  
 $\triangle ABM \equiv \triangle ACM$   
 合同な図形の対応する角は等しいから、  
 $\angle BAM = \angle CAM$

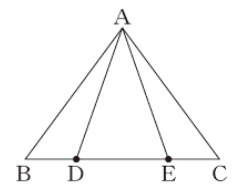
上の証明の                      に当てはまる合同条件を、下のアからオまでのの中から1つ選びなさい。

- ア 3組の辺がそれぞれ等しい
- イ 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい
- ウ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい
- エ 直角三角形の斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい
- オ 直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい

12 次の問題について考えます。

問題

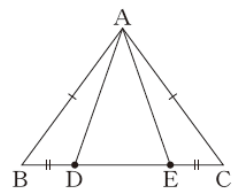
右の図のように、 $AB=AC$  の二等辺三角形  $ABC$  の辺  $BC$  上に  $BD=CE$  となる点  $D$ 、点  $E$  をそれぞれとります。このとき、 $AD=AE$  となることを証明しなさい。



$AD$  と  $AE$  をそれぞれ1辺とする2つの三角形に着目すると、次のような証明の方針を立てることができます。下の ①、② に当てはまる三角形を書きなさい。

証明の方針

- ①  $AD=AE$  を証明するためには、①  $\equiv$  ② を示せばよい。
- ② ① と ② の辺や角について、等しいといえるものを探せばよい。まず、仮定から、 $AB=AC$ 、 $BD=CE$  がいえる。
- ③ ② を使うと、① の ①  $\equiv$  ② が示せそうだ。



13 江戸時代の数学書「塵劫記」には、日常生活で役立つ様々な計算が紹介されています。下の図は、木の高さの求め方を紹介した部分です。



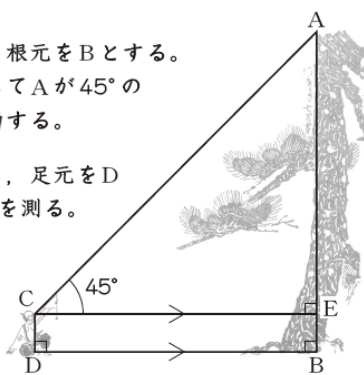
寛永4年(1627年)刊行の塵劫記より

翔太さんは、この内容に興味をもち、木の高さの求め方を、次のようにまとめました。

木の高さの求め方

手順

- ① 木の一番高い位置をA、根元をBとする。地面と平行な直線に対してAが45°の方向に見える位置に移動する。
- ② そのときの目の位置をC、足元をDとし、CD、DBの長さを測る。
- ③ CDの長さとはDBの長さをたすと、高さABが求まる。



ポイント

- 点Cを通りDBと平行な直線とABの交点をEとする。ABの長さは直接測れないので、ABをAEとEBに分け、それぞれの長さを他の長さに置き換えて測っている。
- 木と人は地面に対して垂直に立っていると考えると、 $AB \perp DB$ ,  $CD \perp DB$ ,  $\angle AEC = 90^\circ$ となる。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

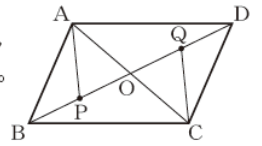
- (1) 目の高さCDが1.2m、DBの長さが8.3mであるとき、上の木の高さの求め方にしたがって、木の長さABを求めなさい。
- (2) 木の高さの求め方の手順②でCD、DBの長さを測っているのは、EBをCDに、CEをDBに、それぞれの長さを置き換えているからです。そのようにしてよいのは、四角形CDBEが長方形だからです。ここで用いられている長方形の性質について、下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 長方形の4つの角はすべて等しい。
- イ 長方形の2組の向かい合う辺はそれぞれ平行である。
- ウ 長方形の2組の向かい合う辺の長さはそれぞれ等しい。
- エ 長方形の対角線の長さは等しい。

14 悠斗さんは、次の問題を考えています。

問題

右の図のように、平行四辺形ABCDの対角線の交点をOとし、線分OB、OD上に、 $BP = DQ$ となる点P、Qをそれぞれとります。このとき、 $AP = CQ$ となることを証明しなさい。

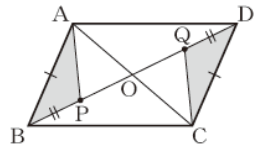


次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 悠斗さんは、次のような証明の方針1を考えました。この証明の方針1にもとづいて、 $AP = CQ$ となることを証明することができます。

証明の方針1

- ①  $AP = CQ$ を証明するためには、 $\triangle ABP \equiv \triangle CDQ$ を示せばよい。
- ②  $\triangle ABP$ と $\triangle CDQ$ の辺や角について、等しいことがわかるものを探せばよい。まず、平行四辺形ABCDの性質から、 $AB = CD$ がわかるし、仮定から、 $BP = DQ$ もわかっている。
- ③ ②を使うと、 $\triangle ABP \equiv \triangle CDQ$ が示せそうだ。

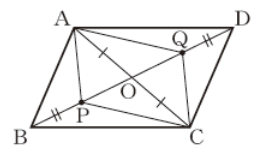


この証明の方針1にもとづいて、 $AP = CQ$ となることを証明しなさい。

- (2)  $AP = CQ$ であることは、下の図のように、線分AQ、線分CPをひき、次のような証明の方針2を考えて証明することもできます。

証明の方針2

- ①  $AP = CQ$ を証明するためには、四角形APCQが平行四辺形であることを示せばよい。
- ② 四角形APCQについて、平行四辺形ABCDの性質から、 $OA = OC$ がわかる。
- ③ ②と仮定の $BP = DQ$ を使うと、四角形APCQが平行四辺形であることは、ことから示せそうだ。



証明の方針2のに当てはまることながら、下のアからエまでの中にあります。正しいものを1つ選びなさい。

- ア 対角線がそれぞれの中点で交わる
- イ 対角線が垂直に交わる
- ウ 対角線の長さが等しい
- エ 対角線が垂直に交わり、その長さが等しい